

公開講座・フォローアップ研修開催報告

去る7月4日、水道橋の全水道会館にて平成27年度公開講座「若年認知症の人たちへの生活支援」及び若年認知症専門員フォローアップ研修が開催されました。

公開講座Ⅰ部の「東京都に於ける若年認知症施策」では東京都保健福祉局の佐伯哲毅氏を迎え、都の認知症施策や若年認知症への取り組み状況について詳細なデータと共にお話しいただきました。Ⅱ部「若年認知症の人たちへの生活支援の実践例」では、当法人若年認知症専門員の江湖山さおり氏、後藤満利子氏よりそれぞれの職場での具体的な取り組み例を、写真と共にお話しいただきました。ご本人からの手紙を朗読する一幕があり、参加者の皆さんは強く印象に残ったようでした。講座の開催にあたっては定員90名を超える申し込みがあり、参加をお断りせざるを得ないほどでした。介護福祉職だけでなく行政や教育関係など幅広い職種の方の参加があり、若年認知症が大きな関心を集めていることを改めて実感しました。



【午前】 公開講座「若年認知症の人たちへの生活支援」

午後の若年認知症専門員フォローアップ研修では、1～4期の若年認知症専門員から20名の方が集まりました。2名から現場における事例提供があり、4つのグループに分かれてグループワークを行ないました。若年認知症専門員といっても、皆さんの現場における職種は様々です。他職種の方を交えてのグループワークはとても白熱したものになり、皆さん刺激を受けている様子でした。ここで得た気づきや情報を活かして、それぞれの現場に取り組み、また次のフォローアップ研修で事例を共有する。こうした流れを通して全国の若年認知症専門員の皆さんが活躍していくことを期待したいと思います。



【午後】 若年認知症専門員フォローアップ研修